

今日は久しぶりに雨の1日でした。休み時間にはそれぞれの教室から「外で遊びたい〜。」の声が校長室まで聞こえてきました。雨だから仕方がないね。雨の日の過ごし方には気を付けて過ごそうね。

始業前の時間を利用して放送集会をしました。各教室に設置してあるプロジェクターに映像を映して、子供たちに視聴してもらう時間でした。今日は、震災30年「いつも ころに ともしびを」(ともしびプロジェクト)について、神戸市教育長からのメッセージ動画を流して子供たちに伝えました。

“ともしびプロジェクト”について(要約)

令和7年1月に阪神淡路大震災から30年を迎えます。神戸市では、一人一人の子供に「生きる力」を育むために、防災教育をその中心として位置づけ、取り組んできました。これまで歩んできた過程を振り返り、一人一人が過去から未来を見つめ、地域・学校などのコミュニティ単位でも防災教育と向き合う機会としていくために「いつも ころに ともしびを」を合言葉に“ともしびプロジェクト”として「1. 17」だけでなく、1年間を通して、震災を振り返り、防災意識を高めていく活動に取り組んでいきます。

「いつも ころに ともしびを」(ともしびプロジェクト)
～震災30年 未来につなぐ防災教育～

神戸の防災教育においては、「震災体験から学んだ教訓を生かす」「防災・減災」「思いの共有化」の視点で取り組んできました。震災30年を迎えるにあたり、改めて震災を振り返ることで、今までの軌跡を見つめ、未来に力強く生きていく感性を高めていきたいと考えています。1年間を通じて、新たな神戸の歴史を積み重ね続けている思い(ともしび)を「みつめる」「いかす」「つなぐ」の3つの視点で活動に取り組めます。

- ・ともしびを「みつめる」プロジェクト…震災から得た教訓を学ぶ学習
- ・ともしびを「いかす」プロジェクト……人とかかわりを大切にして、生命を守る活動
- ・ともしびを「つなぐ」プロジェクト……誰かのころに寄り添う感性を高め、自らが主体となってつなぐ活動

神戸市の小学校の児童、中学校の生徒のみなさんに向けたメッセージでした。少し難しい言葉もありましたが、みんなしっかりと聞くことができました。